

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

澄んだ青空が秋を感じさせますね。秋といえば稲刈りの季節。皆様はもう新米を頂いたでしょうか？

日本人の心・・・お米一粒一粒に対し、農家の皆様が精魂込めて作って下さったと思いながら食しなければなりませんね。

これからの季節、朝夕冷え込んでまいりますのでお身体にお気をつけてくださいませ。

サンライズの物語

1つのお声から実感したこと、
介護に対する熱い思いはどこでも共通。

先日、嬉しい知らせが弊社へ届きました。

青森県で高齢者の健康推進や生きがいづくりに取り組んでいる、
市民ボランティア団体関係者の方からのご連絡でした。

お話を伺うと、弊社の広報誌「ライジングサンVol.27」にて掲載した
「恐山まあだだよ」の関係者様で、インターネットで弊社のホームページを
たまたまご覧になったことから、ご連絡を頂いたということでした。

サンライズ物語を読んで感動したとお言葉とともに、広報誌の残数があれば
送って欲しいとお声も頂きました。

東京と青森で距離は遠くても何かの縁で繋がっていたようで、とても胸が熱くなりました。
遠く離れていても介護に対する熱い思いは変わらないことを、誠に嬉しく感じています。

そして、日本全国で根強い市民ボランティアの方々が高齢者様の支援をしていらっしゃる事が今の高齢者社会
を支えているのだと改めて感じました。

これからも日本の今を構築されてきた高齢者の方々安心して暮らせる社会にせねばならないと考えます。



「ハードロック介護！」

介護に関わる全ての人に贈る1冊。

ワニブックス 著者：コバヤシ

暗い、汚い、ツライ……そんな介護のイメージをぶっこわす！

介護士の著者が施設での日常を描いた4コマ漫画です。

介護士ならではの、「あるある」と笑えたり和んだり、時にはしんみりするお話が詰まっています。

読むと元気に、そして介護が楽しくなるヒントになる1冊です。



NEWS 今月のニュース

「街とつくる」デイサービス 自由に利用できるカフェや ライブラリーを併設

阪急塚口駅南側に8月25日、「まちかぞくステーション りくり」（尼崎市南塚口町3、TEL 06-6423-8108）がオープンした。

「街に暮らすさまざまな人と共につくる」をコンセプトにした同施設。高齢者向けデイサービスに、利用者以外でも自由に利用できるライブラリーやカフェを併設する。同施設代表の石井安紀子さんは「閉鎖的なイメージを払拭（ふっしょく）し、もっと楽しい雰囲気に変えたかった。学生や子育て世代の人に休憩所としてカフェなどを使ってもらい、幅広い世代が集える場にしたい」と話す。

リハビリスペースは、6機種のトレーニングマシンを使い筋力強化ではなく動作性の改善を図る「パワーリハビリテーション」を導入。庭のスペースを利用し野菜を栽培する「園芸療法」なども取り入れる。利用者には、アレルギーや嚥下（えんげ）機能に合わせた調理法で作る弁当を無料で提供する。「交流の場としてだけではなく、リハビリや食事の面にも力を入れている。アロママッサージなどリラクゼーションなども用意している」と石井さん。

オープンに先立ち、福祉関係者や地域住民から意見を聞く「フクシミライカイギ」を実施。「自由なユニホームを着たい」「多世代交流できる場所がほしい」「行くのが楽しくなるようなデイサービスに」など、さまざまな声が上がったという。石井さんは「ユニ

ホームを自由に選べたり、誰でも利用できるスペースを設置したり、頂いたさまざまな意見を取り入れた。たくさん声を聞くことができるのは大変貴重な場。これからも定期開催していきたい」と意気込む。

【営業時間】

午前の部／9時15分～12時30分
午後の部／13時30分～16時45分
土曜・日曜休み。



<みんなの経済新聞ネットワーク
2016年9月7日(水)>



今月の 名言

『希望』はいいものだよ。たぶん最高のものだ。
いいものは決して滅びない。

アンディ・デュフレーン（映画「ショーシャンクの空に」）

不朽の名作「ショーシャンクの空に」から抜き出した一言。主人公、アンディは無実の罪で投獄され、理不尽な状況にいても、決して諦めずに目的を見据え、最後には『希望』を手に入れました。『希望』を持ち続ける限り、決して『不幸』に押しつぶされることはないというメッセージです。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>